

共同運営部門：内視鏡検査センター

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
センター長兼消化器内科部長	高谷 宏樹
消化器内科医員	中野 智景（8月入職）
非常勤医師	月曜 午前2名, 午後1名
	火曜 午前午後2名
	水曜 午前午後2名
	木曜 午前1名, 午後2名
	金曜 午前2名, 午後1名

っていきたい。

—概要—

2018年8月より中野医師を常勤で迎えた。

さらに内視鏡の非常勤医師も2名増加し、内視鏡検査数も増加した。常勤医師の増加で入院対応しやすくなり、内視鏡処置件数も大幅に増加した。

内視鏡学会指導医・専門医1名、専門医2名（内外科医1名）が当院に常勤として在籍しており日本消化器内視鏡学会認定指導施設となっている。

当院で研鑽を積むことで日本消化器内視鏡学会認定専門医の取得が可能である。

—実績—

内視鏡件数

上部内視鏡検査	2,710件
止血術	65件
ステント留置	10件
上部EUS	45件
ESD	25件
ERCP	256件
胆膵EUS	263件
下部内視鏡検査	1,750件
コールドポリペクトミー	320件
止血術	35件
粘膜切除術	312件
大腸ESD	25件
ステント留置	15件

—今年度の成果と反省点・来年度への抱負—

内視鏡検査室の不足、内視鏡検査機器の老朽化、ファイリングシステムの老朽化などハード面での不備が目立つ。特に検査室の不足は大いに問題である。

医師が増えても検査室や機器が不足してはこれ以上の検査数の増加や処置数の増加は望めない。

検査室の増加と機器の更新、ファイリングシステムの更新無くしては今後の展望は望めない。よってこれらを病院側と交渉し順次整備していき、検査数の増加と検査の質の向上を図りつつ、学会活動も活発に行い、後進の指導も行